

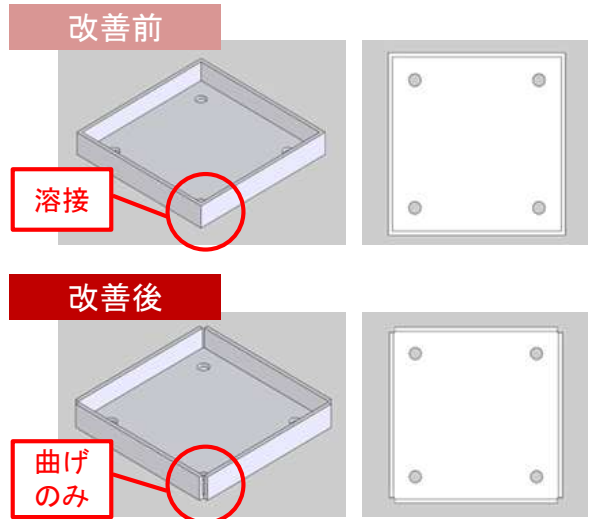


産業用の板金装置ユニットの設計から製造・配線・組立を社内一貫加工するアシスタントメーカー
関東精工がお届けする、コストダウン設計、品質改善設計のための技術ニュース

“水漏れ不可” 箇所以外の四方曲げ形状変更によるコストダウン

特に水漏れを気にしない板金部品であっても、四隅は曲げた部分が重なり合い、突き合わせる図面になっていることがほとんどです。基本的に重なり合い、突き合わせになっている部分には溶接を行いグラインダーによる仕上げもを行いますので、それだけ加工工数が必要となってしまいます。水漏れ不可の板金加工品であればもちろん上記は必要ですが、そうではない板金加工品にも適用すると、過剰な加工内容となります。

特に水漏れ不可の必要性が無い場合であれば、図面上で曲げた四隅に隙間を持たせ、突き合わせを行わないようにします。そうすることで曲げた部分が重なり合わないで、溶接する必要がなくなります。溶接作業自体を行わずに済む上に、グラインダー仕上げも不要となるので、大幅なコストダウンにつながります。



■ 今月の最新製作事例 ステンレス製 UVニス循環装置



サイズ：H950 × W960 × D750 材質：SUS304

このステンレス板金組立装置は、印刷物の表面を保護するために表面加工するUVニスを循環する装置です。錆にくいステンレス（SUS304）を使用し、外装面にはヘアライン処理された材料を使用し意匠性を高めています。外装カバーの内側にはステンレス製のタンクが2つあります。この2つのタンク内部に薬液が溜まってしまうと腐食が発生してしまうので、薬液が溜まらないようにタンクコーナー部はR形状の曲げ加工を施してあります。また、スイッチ類や電線関係も自社で調達し配線・組み立てを行っています。最終検査では水張り検査を行い、その後、実際にポンプを回し、水を循環させて流れ方向などを確認して出荷しています。

今月のひとこと ～ 中学生 ものづくり職場体験を開催 ～

先日、毎年夏休み恒例となっている、地元中学生の職場体験を実施しました！今年は男子2名、女子1名の3名がものづくり職場体験として弊社に来社しました。生徒達は真剣な眼差しで作業や機械を見学して、実際にものづくり体験を行いました。自分のブックエンドを3D CADでモデリングして、展開図・プログラムの作成をし、プレスプレーキで曲げてもらい、最後にサンドブラストで名前を入れました！他にも梱包作業のお手伝いをし、速さや正確さ、美しさが求められましたが、難しい表情で取り組んでいました。少しでもものづくりの楽しさが伝わったかな？と思います。将来、関東精工に入社してくれることを楽しみにお待ちしております！

